



2025年も全力で 埼玉県の「安心・安全」を 追求してまいります

1977年生まれ
香蘭女学校・早稲田大学政治
経済学部卒業
1男2女(20.18.16歳)の母
防災士
民主改革さいたま市議団
元政務調査員
2023年4月 さいたま市浦和
区より県議会議員トップ当選

戦後80年という節目の2025年が幕を開けました。今年の干支であるへびは脱皮を繰り返して成長していくそうですが、私も年女として精進して参りたいと思います。まずは**3月の予算委員会に初登板**する予定です。県民目線を大切に埼玉県のお財布をチェックしていきます。

県として今年的一大イベントは、**5月に秩父で行われる植樹祭**です。本県の林業を改めて国内外にアピールし、経済と環境保全の難しいバランスを再考するいいチャンスになることを私も期待しています。

また、夏にはさいたま新都心に「**渋沢MIX**」が開設されます。創業支援から企業間の交流による新たな事業誕生まで幅広いビジネスチャンスが生まれることを狙っています。令和8年度に鶴ヶ島市にオープンするロボティクスセンターと共に、本県の経済発展の中核となっていくと思われま。

一方、課題も山積しています。順天堂大学病院の誘致がなくなったことで、人口の割に全国一少ない本県の**医師確保**をどのように進めるのか。東京湾北部地震に備え、数々の被災地から学んだことを本県の**防災力向上**に生かすことができているのか。圧倒的な財政力のある東京都と隣り合っていることで、賃金の高い**都へ人材が流出**することや、都の手厚い子育て環境と同等のサービスを求められても「**ない袖は振れない**」現状に、どのように向き合っていくのか。**物価高**は続き、賃金上昇が望まれるなか、**円滑な価格転嫁**を後押しし、**人手不足**に頭を悩ます**中小企業を支援**するために何ができるのか。不安定な世界情勢に負けない**食料安全保障**をどう築いていくのか等々。

また、**県庁舎再整備**も大きな問題です。今年度中に場所について方向性がでるとされていますが、浦和の歴史を鑑みても現在地での建て替えを強く求めていきたいと思っています。

本年はもう一度埼玉県の「安心・安全」を立て直し、県民の皆様のご意見を県政に反映させ、「いつでも再チャレンジできる社会」の構築を目指し、実りが生まれるよう全力で行動していきます。



本年が皆様にとって
良い年となりますことを
心よりお祈り申し上げます

元旦 神明社にて福だるまを配らせていただきました